

# 一般社団法人 千葉県理学療法士会 NEWS



2026年6月  
第246号

## もくじ

巻頭言	2
各部局県士会活動案内・報告	3
お知らせ	8
編集後記	9



千葉県理学療法士会：以下 県士会

URL：<http://www.chiba-pt.org/>

県士会ニュース代表メールアドレス：[t.kouketsu@asunarogroup.jp](mailto:t.kouketsu@asunarogroup.jp)

### ◆ ニュース原稿メ切 ◆

No.247 8月号（8月1日頃掲載）メ切 6月30日

No.248 10月号（10月1日頃掲載）メ切 8月31日

No.249 12月号（12月1日頃掲載）メ切 10月31日

No.250 2月号（2月1日頃掲載）メ切 12月31日

No.251 4月号（4月1日頃掲載）メ切 2月28日

No.252 6月号（6月1日頃掲載）メ切 4月30日

## ❖ 巻頭言 ❖

### ☒ 制度改定の先にある理学療法士の価値

#### — 令和8年度診療報酬改定を契機に考える専門性と多職種協働 —

一般社団法人千葉県理学療法士会

副会長 高橋 聡

令和8年度診療報酬改定が始まり、県内の各施設においても、算定要件や施設基準の確認、届出や記録の整備、院内外での調整など、さまざまな対応が進められていることと存じます。改定直後のこの時期は、通知や疑義解釈への対応に追われ、日々の臨床業務と並行して運用体制を整える必要があり、会員の皆さまにおかれましては大変ご多忙のことと拝察いたします。そのような中でも、患者・利用者様への支援を継続しながら現場を支えておられるご尽力に、心より敬意を表します。

診療報酬改定は、単なる点数や算定方法の見直しではなく、これからの医療・介護提供体制において何が求められるのか、専門職にどのような役割が期待されているのかを示すものです。とりわけ今回の改定は、多職種協働や地域における切れ目のない支援の重要性を、これまで以上に強く示しているものと受け止めております。

このような変化の中で、理学療法士に求められるのは、自らの専門性をチームの中でどのように発揮し、患者・利用者様のアウトカムに結びつけていくかという視点です。理学療法士の専門性は、運動機能や動作能力の評価・改善にとどまるものではありません。患者・利用者様がどのような生活を取り戻したいのかを見据え、身体機能、活動、参加を結びつけながら支援することに本質があります。

さらに重要なのは、その支援の意図や成果を他職種と共有し、わかりやすく伝えていくことです。評価に基づく介入の妥当性や、生活機能の変化を丁寧に示すことが、チーム医療の中での信頼を高め、理学療法士の価値を可視化することにつながります。制度対応に追われる今だからこそ、「なぜこの支援を行うのか」「それがどのような成果を生むのか」を問い続ける姿勢が求められています。

千葉県理学療法士会といたしましても、会員の皆さまが制度改定を的確に理解し、それぞれの現場で専門性を発揮できるよう、情報提供や研修、地域における連携支援を引き続き推進してまいります。今回の改定を単なる対応に終わらせるのではなく、理学療法士の価値を社会に示す契機として、ともに歩みを進めてまいりましょう。



## ❖各部局県士会活動案内・報告❖

### 📌事務局 報告

#### ●千葉県理学療法士会 公式 SNS 開設 !!

事務局担当 理事 金子達哉

千葉県理学療法士会では、会員の皆様への情報発信をより迅速かつ身近なものとするため、このたび各種公式 SNS アカウントを開設いたしました。

研修会・学術関連情報、県士会活動の報告、各種お知らせなどを発信してまいります。

会員の皆さまにとって、必要な情報をより受け取りやすい環境づくりを目指してまいりますので、ぜひご登録をお願いいたします。

X

<https://x.com/cbpt1971>



Instagram

<https://www.instagram.com/chibapt1971/?hl=ja>



Facebook

<https://www.facebook.com/profile.php?id=61579494421987>



### 📌生涯学習局 報告

生涯学習局 局長 竹内真太  
生涯学習局担当 理事 藤井 顕  
生涯学習局担当 理事 室井大佑

令和8年度の生涯学習局に関連する研修会のスケジュールをホームページに公開しました。ぜひ多くの方に受講していただければと思います。また、AI相談窓口の内容も令和8年度版に刷新しております。千葉県理学療法士会ホームページ>理学療法士向けサイト>生涯学習>お問い合わせ・AI相談窓口よりご利用ください。

#### 【企画研修部より】

企画研修部 部長 廣居康博

令和8年度の千葉県理学療法士会主催、更新研修会のスケジュールが決定しました。今年度も、千葉県理学療法士会会員限定・全研修会一律500円でご参加いただけます。明日から臨床で活かせる実践的な知識・技術を学べる貴重な機会です。日々の臨床力向上はもちろん、学び直しや新たな視点を得たい方にもおすすめです。詳細は、千葉県理学療法士会ホームページ内「生涯学習」→「士会主催更新研修会」をご確認ください。また、公式 SNS でも随時情報発信しております。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

#### 【卒前卒後教育連携推進委員会より】

委員長 竹内真太

千葉県理学療法士会ホームページにて、2026年度の臨床実習指導者講習会の開催予定を掲載しました。開催3ヶ月前には詳細情報を掲載しますので、計画的な受講の参考としてください。

### 📌公益事業局 報告

#### ●サポートスタッフ養成セミナー開催報告

障がい者スポーツ支援部 部長 福田大輝  
(いんざい整形外科クリニック)

令和8年3月8日(日) タムス浦安病院にてスポーツ現場サポートスタッフ養成セミナーを開催しました。このセミナーは千葉県理学療法士会へ派遣依頼され

たスポーツ現場での活動（高校野球や障害者スポーツ大会等のコンディショニングサポート活動）に参加するために必要なセミナーとなっております。



セミナー内容は、スポーツ支援部・障がい者スポーツ支援部の両部長によるサポート事業の紹介や、部員によるスポーツ現場での対応や注意点として、頭頸部外傷・熱中症の講義をそれぞれ行いました。



また実技も行い、心肺蘇生の訓練として Automated External Defibrillator（以下、AED）や人形を使用した心臓マッサージなどの一次救命処置、搬送方法や伸縮テープを使用したテーピングを行いました。



スポーツ現場での対応やAED・心臓マッサージは普段の臨床では経験することが少ないものですので、みなさん真剣に取り組んでいました。

参加者は32名と多くの県士会員に参加をいただき、セミナー終了後には参加者へ修了証を発行しております。今後、県士会へ派遣依頼があった際にはセミナー

修了者へ連絡が届きますので、ぜひサポート活動にご参加いただければと思います。

例年1～3月に本セミナーは開催しています。今年度も開催を予定していますので、県士会ホームページや県士会ニュースなどで情報をチェックしてください。

スポーツ・パラスポーツに興味がある方、なかなか一歩目が踏み出せない方、ぜひ参加をお待ちしております。



## ●スポーツ支援部・障がい者スポーツ支援部 共同セミナー開催報告

障がい者スポーツ支援部 部長 福田 大輝  
(いんざい整形外科クリニック)

令和7年度第2回目のセミナーを開催しましたので、ご報告いたします。

スポーツ支援部・障がい者スポーツ支援部では、これまでにスポーツ現場サポートスタッフ養成セミナーを毎年開催し、多くの県士会員に参加していただき、高校野球千葉県大会や障害者スポーツ大会などのサポート活動にご協力いただいております。

過去に養成セミナーを受講された会員以外にも、スポーツや障がい者スポーツに興味のある会員の方にもご参加いただけるようセミナーを開催しています。

今回は3月22日（日）に北千葉整形外科をお借りして、水泳競技に関するセミナーを開催しました。

前半の講義は千葉県水泳連盟トレーナーである山本一輝先生（北千葉整形外科）による「競泳競技におけるコンディショニングと帯同サポートの実際」として、競泳において発生する外傷・障害や、実際のリハビリテーションだけでなく、チーム帯同から、コンディショニングについて実技を踏まえてご講義いただきました。



後半は障がい者スポーツ支援部部員の合田龍馬先生（さくしん整形外科）による千葉県障害者スポーツ大会の水泳競技のコンディショニンググループの活動について、実際のサポート活動の報告も含め説明がありました。



競技特性や障害特性など、競泳に特化したセミナー内容でしたが、上肢だけでなく全身の評価やエクササイズなど、普段の臨床にも応用できる内容で、スポーツに限らず様々な場面で活用できるため、皆さん真剣に取り組まれていました。



スポーツ支援部・障がい者スポーツ支援部の共同セミナーは毎年2回開催しており、今年度も夏～秋頃にかけて予定しております。県士会員であればどなたでも参加できますので、興味のある内容でしたら、ぜひご参加ください。

今後も同様のセミナーを定期的で開催することで、県士会員の皆さんが安心して活動できる環境づくりを整えていきたいと思っております。

## ☑一般社団法人千葉県理学療法士会

### ●令和7年度 第14回理事会 議事録

日 時：令和8年3月13日（金）19時00分～21時30分

場 所：千葉市文化センター 会議室

出席者：〈理 事〉薄 直宏、松田 徹、小林好信  
小川明宏、高橋 聡、大住崇之  
桑江 豊、江戸優裕、金子達哉  
山中 玄、高杉 潤、竹内真太  
藤井 顕、森下勝行、小串健志  
仲 貴子、井上靖悟、深田 亮

〈委 任 状〉室井大佑、川村雄輔、中村亮太

〈欠 席〉福家晶子

〈監 事〉田中康之、児玉美香

〈相 談 役〉西山晴彦

〈部 長〉廣居康博、山崎 敦、瀨瀬琢磨  
北郷仁彦、福田大輝、池田一樹  
西本浩子、大矢祥平（副部長）  
川原聡子（副部長）、畠中良輔  
（財務部）

〈事 務 局〉奥村龍之

〈書 記〉山中 玄

#### 1. 協議事項

##### 1) ブロック主催研修・交流事業の目的別類型化モデル(案)について

ブロック研修会の参加要件について事業の目的に応じ、地域交流型、学術発信型、入会促進型と整理する案が提案された。類型化するモデルの方向性と運用ルールについて協議された。学術活動と交流活動の区分や公益事業の位置付け、分類項目や運用のタイミング等について質疑が行われた。

##### 2) 令和8年度県士会表彰式典について

令和8年度県士会表彰式典の開催、会場及び当日までのスケジュールについて説明がなされた。例年通り、総会時に開催する方向で調整することとなった。

##### 3) 県士会主催更新研修会の参加費について

更新研修会の参加費について、研修参加の障壁を低減すること、生涯学習機会の均等化、県士会員としてのメリット向上を目的として、県士会員を対象に完全無料化する案が提案された。他士会の開催状況や研修会内容の精査を行ない継続的な協議を行う方針となった。

## 2. 審議事項

### 1) 臨床実習指導者講習会世話人認定要件の変更について

現行の世話人認定要件に、臨床実習指導者講習会の修了、理学療法士作業療法士言語聴覚士養成施設等教員講習会の修了、理学療法士作業療法士専任教員養成講習会の修了を令和8年4月より加えることが提案され、賛成多数で可決された。

### 2) 臨床実習指導者講習会の世話人認定者について

本議案は取り下げとなった。

### 3) 定款変更及び関連規定について

定款及び関連規定について前月理事会における協議内容を踏まえた内容をもって理事会案として司法書士へ提出することについて審議がされ、賛成多数で承認された。

### 4) 千葉県高校野球連盟からの熱中症講義依頼について

千葉県高校野球連盟よりスポーツ支援部に熱中症についての講演依頼があり、受諾可否について審議が行われた。熱中症に関する講義を理学療法士が行うことについて懸念事項があるため、講演内容の確認を理事会にて行うことを条件に賛成多数で承認された。提出期限は3月26日とし、内容に疑義があった場合は担当副会長および会長が意見を取りまとめ判断することとなった。

### 5) 君津ブロック研究支援研修会への非会員参加について

君津ブロックでは入会促進を目的とした会員所属施設の非会員の参加（参加費無料）について審議が行われた。開催3ヶ月前に議案提出とする予算計画のルールを遵守できていない点等を鑑み、否決された。

### 6) 今後の広報戦略について

広報体制の充実を図るため、SNSを使用した広報戦略の稼働ならびに広報担当者を経由した情報配信におけるルール整備について審議が行われ、賛成多数で承認された。令和8年4月からの運用に向け、広報依頼フロー等の詳細については、次回以降の理事会で周知を継続することとなった。

### 7) 新入会者の承認について

令和8年2月の新入会者1名について、賛成多数で承認された。

## 3. 報告事項

### 1) 会長行動録、三役会報告、三役局長会議報告

令和8年2月13日～本日までの会長行動録および三役会と三役局長会議の結果が報告された。

### 2) 事務局報告

下記8点について報告された。

#### ① 県士会ニュースの進捗報告

各方面からの原稿提出遅延、4月上旬までにホームページ掲載目標。

#### ② 令和8年度新入会歓迎セミナーについて（2026年5月17日）

当日進行は大住理事、事務局説明は松田理事。事務局より施設管理者向けにメールにて周知を行うことが共有された。

#### ③ 令和8年度新人会・復会促進研修会について

令和8年9月12日／千葉県立保健医療大学幕張キャンパス

ブロック長合同会議にてブロック交流会企画の意見聴取予定。

#### ④ 令和8年度理事会日程について

代議員総会は6月28日で仮決定。

#### ⑤ 理学療法月間のコラボ企画関連

安房ブロック（児童を対象とした土曜スクール活動）と城西国際大学（オープンキャンパス内でのポスター掲示等）の2件を確認。理学療法週間推進部の転倒予防セミナー（7/12千葉市）も実施予定（SNS用撮影依頼済み）。

#### ⑥ 令和8年度事業計画等について

3/26理事ML審議→3/30予算案確定予定。

### 3) 令和7年度ハラスメント対策研修会開催について

日時：2026年3月26日19：00～20：30（1時間30分）（オンライン）

テーマ（仮）：ハラスメント対策（入門編）

講師：21世紀職業財団 認定講師 清水氏

### 4) 令和7年度優秀賞及び協会賞について

千葉県理学療法士会優秀賞について12校より申請があったこと、協会賞3名が承認されたことが報告された。

### 5) 第31回千葉県理学療法学会 報告

参加登録人数 総計 1,434名（概算）

内訳：

【協会会員】

対面：606名（事前登録 県士会 547名、他士会 13名、

当日受付 46名) オンデマンド: 656名 (県士会 193名、他士会 463名)

【非会員】

172名 (PT 21名、OT・ST 2名、他職種 2名、学生 68名、学生スタッフ 79名)

第32回千葉県理学療法学会大会開催予定

期日 令和9年2月28日(日)

会場 東都大学/幕張国際研修センター  
室井大会長、深田準備委員長

次回: 令和8年度第1回

日時: 令和8年4月10日(金) 19時開始

会場: WEB

以上



## ❖お知らせ❖

## 第32回千葉県理学療法学会 公式SNSアカウント情報



X

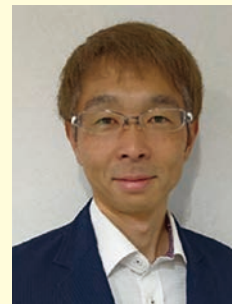


Instagram



Facebook

## ●第32回千葉県理学療法学会 開催のご案内



大会長 室井 大佑  
(千葉県立保健医療大学理学療法専攻 准教授)

## テーマ「理学療法の、その先へ —AI時代にひらく“支える”と“満たす”理学療法—」

このたび、第32回千葉県理学療法学会を令和9年2月28日に、第31回大会に引き続き幕張国際研修センター（東都大学）にて開催させていただき運びとなりました。日頃より地域医療・介護の現場において理学療法の発展にご尽力されている皆様に、心より敬意を表します。

理学療法士の使命は、患者さんの身体機能の回復を支援し、生活を再構築し、その人らしい人生を支えることにあります。しかしAIやテクノロジーが急速に進展する現代において、「回復させること」そのものの価値や役割もまた、変化しつつあります。

近年では、運動や動作を単なる「結果」として捉えるのではなく、その変化の過程や個々の違いに目を向ける視点がより重要になってきています。日々の臨床の中で生じる小さな変化や揺らぎを丁寧に捉え、それを支援につなげていくことが、これからの理学療法において求められる「支える力」となります。

一方で、理学療法には患者さんを「支える」だけでなく、その先にある「満たす」という視点も重要です。すなわち、患者さんの人生における幸福や意味、生きがいにまで目を向けた関わりが、これからの理学療法においてより一層求められるのではないのでしょうか。

私自身、大学院においてバイオメカニクスと心理学を専門とする指導教員のもとで学ぶ中で、運動機能の改善のみならず、認知・判断・動機づけといった心理的要因が行動変容や回復過程に深く関与していることを実感してきました。さらに、知覚や判断がどのように行動に結びつくのかという視点は、近年ではバーチャルリアリティなどのテクノロジーを活用した研究・実践によって新たな広がりを見せています。こうした視点は、これまでとは異なるかたちで人の行動や適応を理解し、臨床に還元していく可能性を持っていると感じています。

また、現在は心理・経済学を専門とする研究者との共同研究を通じて、仕事への意味づけや目標設定、さらには資産形成を含むライフデザインが、専門職としての成長や幸福感に大きな影響を与えることを学んでおります。理学療法士は「人の人生を支える専門職」であると同時に、「自らの人生を主体的に創造する存在」でもあります。患者さんの未来を支えるためには、私たち自身が専門性を高め続けるとともに、やりがいや意味を見出しながら歩み続けることが重要です。

本大会では、「支える」ための臨床技術や評価、プロセスに着目した実践的な講習やハンズオンセミナーを企画するとともに、「満たす」ための視点として、心理学・経済学の観点からセラピストと患者双方の幸福、キャリア形成、将来設計に関するレクチャーを準備しております。また、知覚・判断・行動の関係性をテーマに、テクノロジーの活用も含めた講演を通して、新たな理学療法の可能性についても考える機会を提供できればと考えております。

本大会が、参加される皆様にとって「理学療法の、その先」を多角的に捉え直す機会となり、日々の臨床や研究、さらには自身のあり方を見つめ直す契機となれば幸いです。

準備委員一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## ◆ 編集後記 ◆

### ●報酬改定

ニュース編集部 部長 纈 纈 琢 磨

夏日になる日も多くなってまいりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。ニュース編集部 部長の纈纈です。

いつも県士会ニュースをご覧いただきありがとうございます。

さて、今号の巻頭言で高橋副会長が触れておりましたが、この6月より診療報酬が改定されます。そして、介護報酬も一部が臨時改定となります。今回の両報酬改定の目玉は、やはり『処遇改善・物価高への対応』と『DX推進』だろうと、個人的に感じております。

処遇改善・物価高への対応として、医療従事者の処遇改善を目的としたベースアップ評価料の拡充、物価高への対応として初・再診料等および入院基本料等についての見直し、入院時の食費および光熱水費の基準の見直し、介護報酬においては介護職員等処遇改善加算の新設と拡充、基準費用額（食費）の見直しなどが挙げられるかと思えます。

DXの推進としては、ICT等の活用による看護業務・事務等の簡素化・効率化、オンライン診療や電子処方

箋に係る見直しや推進、情報通信機器を用いた指導や管理の見直しや新設、介護報酬改定においては、生産性向上や協働化に取り組む事業者への評価などが挙げられるかと思えます。

現在の日本の経済環境である「物価高と人手不足」という構造的な課題の中で、私たち理学療法士に求められる役割も、『質の高さ』と『いかに効率的かつ価値ある成果を生み出せるか』という、よりシビアな経済的視点が求められる時代となってきています。

今回の報酬改定に見られる『処遇改善』は、人材の流出を防ぎ、専門職の価値を経済的にも担保しなければ、医療・介護業界そのものが成り立たなくなるという危機感の表れでもあります。

今回の報酬改定は、単なる点数や制度変更だけではなく、医療・介護の持続可能性を守るための大きな転換点であるように感じます。変化の多い時代だからこそ、私たち理学療法士一人ひとりが専門性をさらに高め、地域や多職種との連携を深めながら、「必要とされ続ける価値」を示していくことが求められているのではないのでしょうか。

今号も最後までお読みいただき、ありがとうございました。

今回のニュース原稿の締め切りは  
令和8年6月30日です！

## 千葉県理学療法士会は働きやすい職場づくりを応援しています

困ったときは相談窓口(外部)へ

千葉県理学療法士会外部相談窓口紹介ページ

<https://www.chiba-pt.or.jp/pg2188624.html>



### 問い合わせ先

- 千葉県理学療法士会ホームページ

<http://www.chiba-pt.org/>

- 求人広告のお申込・お問い合わせ

[chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp](mailto:chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp)

- ニュース編集部

部長 纈 琢 磨

[t.kouketsu@asunargroup.jp](mailto:t.kouketsu@asunargroup.jp)

※当県士会ニュースの無断転載・引用はかたくお断りいたします

発行人 薄 直 宏

発行 一般社団法人 千葉県理学療法士会  
事務局

〒260-0013 千葉市中央区中央1-11-1  
千葉中央ツインビル1号館1005号室

Tel 043-301-3065/Fax 043-301-3066  
(電話対応の詳細はHP参照)

Mail [chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp](mailto:chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp)

編集部 部長 纈 琢 磨

医療法人社団 君津あすなろ会  
小見川あすなろクリニック

〒289-0314 千葉県香取市野田280-1

Tel 0478-79-5683/Fax 0478-79-5684

Mail [t.kouketsu@asunargroup.jp](mailto:t.kouketsu@asunargroup.jp)